



目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 本書の目的
 - 2.2. 前提条件
 - 2.3. 対象読者
- 3. セットアップの流れ
- 4. intra-mart Accel GroupMail の設定ファイル
- 5. intra-mart Accel Platform の設定ファイル
 - 5.1. JavaMail
 - 5.2. imui-Richtextbox
- 6. アップデート・パッチの適用
 - 6.1. アップデート
 - 6.2. パッチ
- 7. テナント環境セットアップ
 - 7.1. テナント環境セットアップ後のメンテナンス作業
 - 1. テナント環境セットアップ後のメンテナンス（アップデートによるメンテナンス）
 - 1.1. 2025 Spring からアップデート
- 8. ライセンスの登録
- 9. アンインストール

改訂情報

変更年月日	変更内容
2015-08-01	初版
2016-04-01	第2版 下記の内容を修正しました 「intra-mart Accel Platform の設定ファイル」のJavaMailの設定で指定するリスナの説明が誤っていたため修正しました。 「アンインストール」の内容を intra-mart Accel Platform に倣って行うよう記述を変更しました。
2018-08-01	第3版 下記の内容を修正しました 「intra-mart Accel Platform の設定ファイル」のパスワードリマインダや外部ユーザ招待の機能を阻害する可能性について追記しました。
2018-12-01	第4版 下記の内容を修正しました 「intra-mart Accel Platform の設定ファイル」のIM-共通マスタにないメールアドレスが送信者である場合の送信エラーについて追記しました。
2020-08-01	第5版 下記の内容を追加しました 「intra-mart Accel Platform の設定ファイル」に imui-Richtextboxの設定ファイルの項目を追加しました
2025-04-01	第6版 下記の内容を修正しました 「intra-mart Accel Platform の設定ファイル」の JavaMail の注記の誤りを修正しました。
2025-10-01	第7版 下記の内容を修正しました 「intra-mart Accel Platform の設定ファイル」に運用に関する注記を追加しました。
2026-04-01	第8版 下記の内容を修正しました 「アップデート・パッチの適用」に「テナント環境セットアップ後のメンテナンス作業」を追加しました。

はじめに

本書の目的

本書では、intra-mart Accel GroupMail のセットアップガイドに必要な設定やセットアップの手順について説明します。
「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」と合わせてお読みください。

前提条件

リリースノートに記載されているシステム要件を満たしている必要があります。
詳細は「[intra-mart Accel GroupMail リリースノート](#)」を参照してください。

対象読者

以下の利用者を対象としています。

- intra-mart Accel GroupMail のセットアップを行われる方

セットアップの流れ

セットアップの手順は次のフローチャートの通りです。
各ステップごとのセットアップ手順は一覧のリンク先を参照してください。

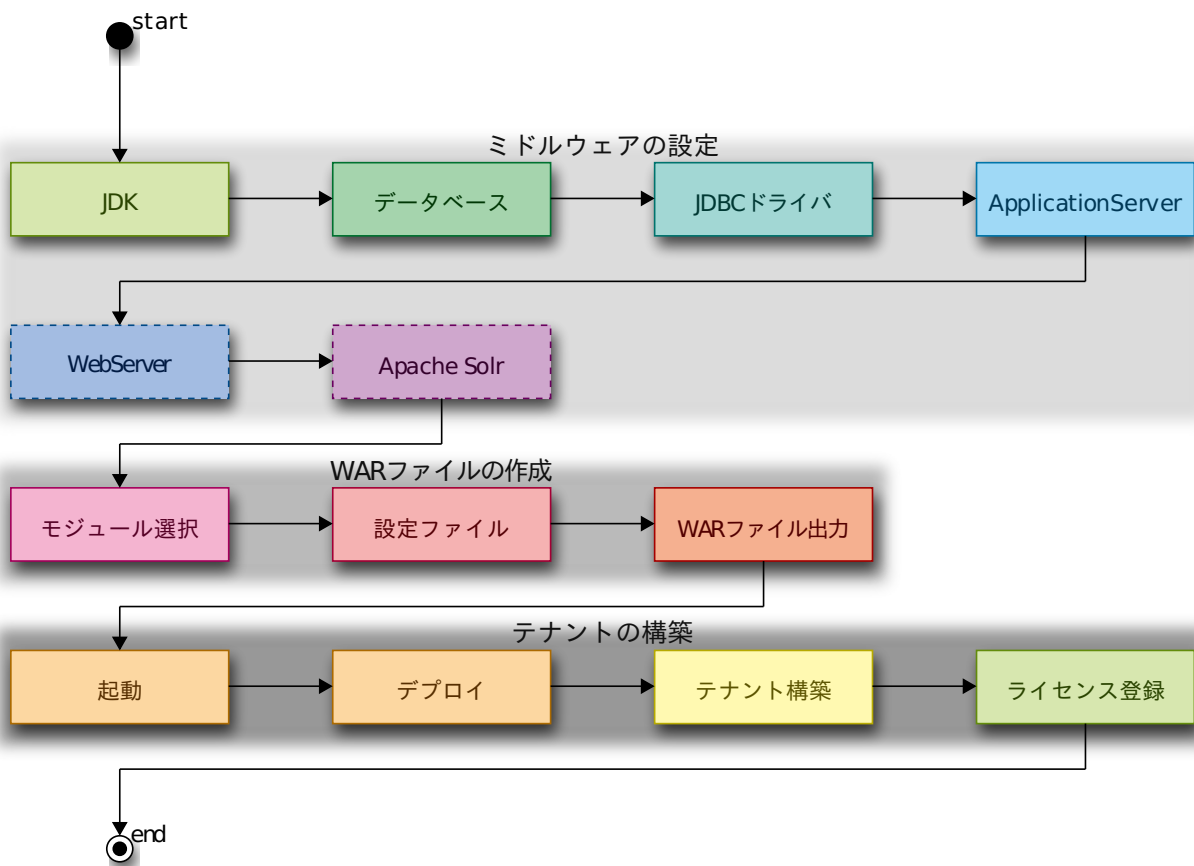
凡例

必須

セットアップが必要な項目です。

任意

セットアップをスキップすることができる項目です。



Name	Description
start	
JDK	JDK
データベース	データベース
JDBCドライバ	JDBCドライバ
ApplicationServer	Web Application Server
WebServer	Web Server
Apache Solr	Apache Solr
モジュール選択	プロジェクトの作成とモジュールの選択

Name	Description
設定ファイル	基盤の設定ファイル - intra-mart Accel GroupMail の設定ファイル
WARファイル出力	WARファイルの出力
起動	Web Application Server の起動・停止
デプロイ	WARファイルのデプロイ
テナント構築	テナント環境セットアップ
ライセンス登録	ライセンスの登録
end	

intra-mart Accel GroupMail の設定ファイル

「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」 - 「[プロジェクトの作成とモジュールの選択](#)」の「[アプリケーションの追加](#)」より、intra-mart Accel GroupMail モジュールを選択後、必要に応じて intra-mart Accel GroupMail を利用するための設定ファイルを編集します。

intra-mart Accel GroupMail の設定ファイルについては、「[intra-mart Accel GroupMail 設定ファイルリファレンス](#)」を参照してください。

！ 注意

intra-mart Accel GroupMail はメッセージをすべてテナントデータベースに保管するという性質上、長く運用を続けてデータ量が増えていくに従い、テナントデータベースの容量を圧迫したり、負荷が高くなってしまう状態を招く恐れがあります。

これを事前に防ぐために、システム設定や管理者機能のユーザ環境設定でユーザ毎の利用可能なデータ容量の上限を設けたり、保管期限を設け期限切れメール削除ジョブネットを定期的に行うことで、古くなったメールを削除していく運用を計画してください。

i コラム

IM-Juggling 上で、intra-mart Accel GroupMail の設定ファイルを編集するには、

1. <（プロジェクト名）/juggling.im> ファイルをダブルクリックします。
2. 「設定ファイル」タブをクリックします。
3. 対象の設定ファイルを選択し、右側にある「出力」をクリックします。
4. 「ProjectNavigator」内のツリー上に表示されたファイルをダブルクリックして編集を行います。

i コラム

通知の受け取りに IM-Notice を利用したい場合は、モジュール選択時に必ず下記のモジュールにチェックを入れて WARを作成してください。（デフォルトでは選択されていませんのでご注意ください。）

- 「ベースモジュール」 - 「追加機能」 - 「通知機能」

IM-Notice の設定・利用方法に関しましては、以下をご確認ください。

- 「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」 - 「[通知機能](#)」

intra-mart Accel Platform の設定ファイル

JavaMail

intra-mart Accel Platform のメール送信に関する設定です。

intra-mart Accel Platform から送信されるメールを intra-mart Accel GroupMail へ送信することができます。

「ProjectNavigator」内の<(プロジェクト名)/conf/javamail-config/javamail-config.xml>ファイルをダブルクリックで開き、
「ソース」タブを選択してください。

リスナ設定

タグ名 listener-class

メール送信時に動作する intra-mart Accel GroupMail リスナを設置します。デフォルトでは、半角カナを全角カナに変換するためのリスナ(`jp.co.intra_mart.foundation.mail.javamail.listener.impl.HalfKanaTransrateListener`)が設置されています。

【設定項目】

```
<javamail-config>
<listener>
  <listener-class></listener-class>
</listener>
</javamail-config>
```

必須項目	○
複数設定	○
設定する内容・設定値	● <code>jp.co.ucm.im.groupmail.listeners.GroupMailSendContinueListener</code> intra-mart Accel GroupMail とメールに送信する場合 ● <code>jp.co.ucm.im.groupmail.listeners.GroupMailSendOnlyListener</code> intra-mart Accel GroupMail のみに送信する場合
単位・型	文字列
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	listener

i コラム

JavaMailリスナによる intra-mart Accel GroupMail 連携を行う場合、メールアドレス1の一致により連携するユーザを決定します。

メールアドレス1にはユーザが一意になるメールアドレスを設定してください。

ユーザ情報のメールアドレス1が未設定の場合はメールを受信することができません。

i コラム

IM-共通マスタにないメールアドレスが送信者である場合、送信エラーになる場合があります。

送信エラーを回避するためには、そのメールアドレスを予めIM-共通マスタに登録しておく必要があります。

i コラム

`GroupMailSendOnlyListener` を設定すると、iAPからのメール送信は一切行われなくなるため、パスワードリマインダーのリマインドメールや、外部ユーザの招待した場合に送信される招待メールも送信されなくなります。これらの機能をご利用の際はご注意ください。

i コラム

IM-Workflow と連携を行う場合、<案件終了処理・到達処理・メール送信の同期／非同期制御>を同期設定する必要があります。

IM-Workflow 管理者の機能を利用し、以下の設定を行うことで連携可能となります。

ワークフローパラメータ (im-workflow-system-config.xml)

```
<!-- thread の設定 -->
<!--
  案件終了処理・到達処理・メール送信の同期／非同期制御
  true: 非同期 (thread を使う)
  false: 同期 (thread を使わない)
-->
<param>
  <param-name>arrive-process-async</param-name>
  <param-value>>false</param-value>
</param>
```

imui-Richtextbox

メール作成時の画像挿入に関する設定を行います。

設定するためにはメール作成時の本文編集欄に用いられているimuiRichtextboxコンポーネントに対して設定を行います。imuiRichtextboxコンポーネントへの設定は intra-mart Accel Platform 共通の設定となります。

設定は設定ファイル(conf/ui-tag-config/ui-tag-config_imui-richtextbox.xml)に行います。

設定できる項目は以下の通りです。

項目	説明
max_size	dataスキームURLの最大文字列長を設定します。
max_width	画像の最大横幅を設定します。
max_height	画像の最大高さを設定します。

設定ファイルの詳細については [intra-mart Accel Platform richtextbox タグライブラリ](#) 内の「imuiDataURL（設定を変更する）」を参照してください。

アップデート・パッチの適用

- IM-Juggling を利用して最新モジュールを適用する事ができます。
詳細は、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」-「[アップデート パッチの適用](#)」を参照してください。

アップデート

- アップデートの適用は、「[アップデートの適用](#)」を参照してください。

パッチ

- アップデートの適用は、「[パッチの適用](#)」を参照してください。

- テナント環境セットアップについては、「[テナント環境セットアップ](#)」を参照してください。



注意

WARファイルに含まれているモジュールにより、テナント環境セットアップにて表示されるウィザードの順序が変わります。

テナント環境セットアップ後のメンテナンス作業

アップデート版を適用前に環境を構築している場合、個別作業が必要です。詳細は、以下を参照してください。

テナント環境セットアップ後のメンテナンス（アップデートによるメンテナンス）

アップデート版を適用前に環境を構築している場合、次の作業が必要です。アップデート前のバージョン別に必要な作業が異なります。



注意

2025 Spring 以前からのアップデートの場合、2025 Spring からアップデート を実施してください。

項目

- [2025 Spring からアップデート](#)
 - [新着メール一覧ポートレットを利用する場合](#)
 - [ジョブネットの実行](#)

2025 Spring からアップデート

新着メール一覧ポートレットを利用する場合

ジョブネットの実行

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブ管理」→「ジョブネット管理」の順にクリックし、「ジョブネット管理」画面に遷移します。
2. ジョブネット一覧の「GroupMail」フォルダをクリックして開きます。
3. 次のジョブを実行します。
ジョブネットID: groupmail_portlet-jobnet-new-arrival-compensation
ジョブネット名: 新着メールポートレット情報再構築

ライセンスの登録

ライセンスの登録を行います。

詳細は「[ライセンスの登録](#)」を参照してください。

アンインストール

アンインストールについては、「[アンインストール](#)」を参照してください。